

学校アンケートのまとめ

全校児童428名

2学期の終わりに全校児童を対象に学習・生活についてのアンケートを実施しました。保護者の皆様から本校の教育活動について、アンケートにお答えいただいたり、様々なご意見をいただいたりしました。今後は、良い点を子供たちの成長として皆様と共有するとともに、学校が改善していかなければならない点を明確にし、次年度の計画に生かしてまいります。コロナ禍で評価情報が少ない中、ご協力いただきありがとうございます。

〈児童による学習・生活の評価について

質問に対して肯定的な回答(とてもそう思う+そう思う)の割合をもとにして◎○●を付けています。

また、**網掛け・太字**は昨年度から改善が見られた項目です。

1 教育目標について 4・とてもそう思う 3・そう思う 2・あまりそう思わない 1・全くそう思わない

質問項目	◎良好(90%以上)	○概ね良好(80%以上)	●課題(80%未満)	4	3	2	1
◎ めあてをもって学習ができる。(かしこく)				53%	40%	6%	1%
○ 自分の意見や考えを、進んで発言することができる。(かしこく)				40%	40%	18%	2%
◎ 調べたり考えたりすることを、自分で決めることができる。(かしこく)				60%	31%	8%	1%
◎ 問題に対して、自分の考えをもつことができる。(かしこく)				63%	32%	5%	0%
◎ 友達と協力して活動することができる。(あたたかく)				72%	21%	7%	1%
◎ 最後まであきらめず努力することができる。(つよく)				67%	27%	5%	1%

◇今年度から重点としている「つよく」や、「あたたかく」については良好です。また、「かしこく」についても肯定的に捉えている児童が増えてきています。今後も、教育目標を意識した取組を続けていきます。

2 学校生活について

質問項目	◎良好(90%以上)	○概ね良好(80%以上)	●課題(80%未満)	4	3	2	1
○ 学校は楽しい。				62%	27%	9%	2%
◎ 自分には、いいところや得意なことがある。				63%	29%	6%	2%

◇学校生活については概ね良好です。「学校が楽しい」の項目で肯定的な回答が昨年度に比べ少し低くなりました。コロナ禍の不安等も考えられますが、今後も子供にとって楽しい学校を目指すとともに、個に応じた丁寧な支援や、温かな言葉かけを大事にし、子供のよさを積極的に賞賛していきます。また、肯定的に捉えていない児童への個別の指導、支援も家庭と連携しながら継続します。

3 先生について

質問項目	◎良好(90%以上)	○概ね良好(80%以上)	●課題(80%未満)	4	3	2	1
◎ 先生方は、勉強を分かりやすく教えてくれる。				77%	21%	2%	0%
◎ 先生方は、勉強を楽しく教えてくれる。				73%	22%	4%	1%
◎ 先生方は、勉強で困っている時に助けてくれる。				68%	27%	4%	1%

◇教員や支援員等の先生については良好です。全ての項目で昨年度に比べ肯定的な回答が増えました。今後も子供一人一人を理解し、寄り添う指導ができるよう、子供にかかわる時間確保のための校務改善や、個に応じた指導・支援、楽しい授業、わかる授業づくりに努めます。

4 生活について

質問項目	◎良好（90%以上）	○概ね良好（80%以上）	●課題（80%未満）	4	3	2	1
◎ 進んであいさつをしている。	55%	35%	9%	1%			
○ 言葉づかいに気をつけて生活している。	49%	40%	10%	1%			
◎ 決まりや約束を守って生活している。	55%	35%	9%	1%			
○ 早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて元気よく登校している。	57%	32%	9%	2%			
◎ そうじをしっかりとっている。	67%	25%	6%	2%			
◎ 授業のはじめと終わりのあいさつができる。	81%	16%	2%	0%			
○ チャイムが鳴る前に席につき、勉強する準備をしている。	42%	45%	12%	1%			
○ 筆記用具・教科書・ノート・下じきなどを前の日に用意している。	56%	29%	11%	4%			
◎ 学習に必要なものは、持ってこない。	77%	15%	6%	2%			
◎ 話す人の方を向いて静かに話を聞いている。	52%	39%	7%	1%			
◎ 教室を移動するときは、静かに歩いている。	51%	39%	9%	1%			
◎ 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をする。	63%	27%	9%	1%			
◎ 友達の苦手なところや失敗を認めたり、許したりできている。	68%	28%	3%	1%			
○ 声の大きさを考えながら、ていねいな言葉で話している。	47%	42%	10%	1%			
○ 自分の気持ちのコントロールができている。	52%	35%	9%	3%			
◎ 毎日の検温、手洗い、マスクの着用などが身に付いている。	80%	17%	3%	0%			
◎ 友達との話し方や遊び方など、距離を意識した生活が身に付いている。	53%	38%	7%	2%			
◎ ウイルスのことを正しく理解し、友達を傷つけない行動をする。	78%	20%	2%	0%			
◎ できることを工夫し、体に負担をかけない生活をする。	59%	33%	6%	2%			
◎ パソコンを使った学習の仕方を理解し、活用する。	82%	15%	3%	0%			

◇ふれあい月間で取り組んだ「友達のよいところ見つけ」「ふわふわ言葉」や、年間を通して意識した「4つのない」を意識した生活により、生活指導については良好で、昨年度よりも肯定的な評価の割合が高くなった項目もあります。肯定的な評価ができない児童に対しては、目的を明確にしたり具体的な方法を示したりするなど、丁寧に分かりやすい個別指導を行います。

○ パソコン・タブレット・スマートフォン・携帯ゲーム機などを使用し、インターネットやメール・SNSを利用することがある。	47%	23%	15%	15%
--	-----	-----	-----	-----

◇概ね良好です。家庭でのルールを決めて使用している子供の割合が高くなってきています。今後は、1人1台のPCが整備され、積極的な活用が予想されることから、家庭との連携を図りながら継続して指導します。

5 学習について

質問項目	◎良好（90%以上）	○概ね良好（80%以上）	●課題（80%未満）	4	3	2	1
○ 授業の中で自分の意見や考えを发表することができる。	50%	34%	12%	4%			
◎ 体験したことや自分の考えを文章に書くことができる。	56%	34%	9%	1%			
○ 体験や振り返りを元に、自分に合った目標を考えることができる。	54%	34%	11%	1%			
○ 目標を達成するために、工夫して学習に取り組むことができる。	54%	34%	8%	4%			

◇重点目標の「つよく」に関わる「目標やめあてを考えること」や「目標やめあてを意識して活動すること」を肯定的に捉えている児童の割合は概ね良好です。また、昨年度まで重点とした「自分の考えを書いたり発表したりすること」に対しても肯定的に捉えている児童が増えてきています。次年度も授業改善に努め、教科指導の質を高めるとともに、教科で身に付けた力を活かした活動の充実を図ります。

<保護者の皆様からいただいたアンケート結果について>

回答率 52.3%

1 教育目標について

質問項目	◎良好 (90%以上)	○概ね良好 (80%以上)	●課題 (80%未満)	4	3	2	1	?
○ 子供は、目標をもち、進んで活動している。(かしこく)				21%	67%	10%	0%	2%
◎ 子供は、友達と協力して活動している。(あたたかく)				36%	62%	2%	0%	0%
◎ 子供は、最後まであきらめず努力している。(つよく)				26%	71%	3%	0%	5%

◇教育目標については、全ての項目について良好です。特にコロナ禍において「あたたかく」や重点目標「つよく」に関する項目への肯定的な評価の割合が高くなっており、子供たちの自己評価と共通しています。

次年度も「つよく」を教育目標の重点(3年次)とし、教育目標を意識して指導を行い、その達成をめざします。

2 学習について

質問項目	◎良好 (90%以上)	○概ね良好 (80%以上)	●課題 (80%未満)	4	3	2	1	?
● 子供は、自らがめあてをもち、学習の見通しをもって学習を進めている。				15%	56%	21%	1%	6%
◎ 子供にとって「楽しい授業」「分かる授業」が展開されている。				33%	58%	2%	1%	6%
● 個に応じた指導が行われている。				19%	52%	11%	2%	19%
◎ 学校は、規律ある学習習慣の確立、学習態度の育成に努めている。				21%	71%	3%	0%	5%

◇「楽しい授業・分かる授業」と「規律ある学習習慣や態度」についての項目は良好です。子供たちが目的や見通しをもって学習を進めたり、一人一人に寄り添った丁寧な指導を行ったりすることについては十分とは言えない状況があります。昨年度に引き続き、学校の取組が十分に伝えることができなかつたことも影響しているかもしれません。今後も、学校の取組や子供たちの学習の様子等をお伝えする方法を工夫するとともに、子供とかかわる時間を確保したり個に応じた丁寧な指導を行ったりしていきます。

3 学校の取組について

質問項目	◎良好 (90%以上)	○概ね良好 (80%以上)	●課題 (80%未満)	4	3	2	1	?
◎ 学校は、全学級で守ること、取り組むことを明確にし、規律ある学習習慣の確立、学習態度の育成に努めている。				26%	67%	3%	0%	5%
◎ 学校は、いじめや体罰のない学級、学校をつくり、子供全員が毎日楽しく安心して登校できるよう努めている。				31%	60%	5%	0%	4%
◎ 学校は、子供の心を傷つける言葉や体罰は暴力であることを認識し、その根絶に努めている。				40%	50%	4%	0%	6%
○ 学校は、あいさつ指導、廊下歩行、集団行動等を中心に規範意識を育てる指導を組織的、計画的に進めている。				24%	62%	4%	0%	10%
◎ 学校は、体育や健康に関する指導の充実を図り、健康で活力ある生活を営むための取組を積極的にしている。				30%	62%	2%	0%	5%
● 学校は、特別支援教育について分かりやすく説明したり、関係機関との協力・連携を強化し、児童支援・サポート体制を構築したりしている。				23%	55%	7%	1%	14%
◎ 学校は、コロナ禍において、諸通信、ホームページ等、教育の成果を伝え、教育活動に対する理解と協力を得る努力をしている。				41%	55%	2%	0%	2%
◎ 学校は、コロナ禍において、保護者や地域と連携し、子供たちの健全育成や校庭芝生等の施設管理や運営を行ったり、地域の行事やPTAの活動等に、参加したりしている。				32%	60%	3%	0%	5%
○ 学校は、コロナ禍において、避難訓練、交通安全教室等のもち方を工夫し、地域ぐるみで安全体制ができています。				28%	59%	6%	0%	8%
○ 学校は、コロナ禍において、学校や地域の環境を教育活動に取り入れ、主体的に学校や地域にかかわる学習を展開している。				24%	60%	9%	1%	7%
● 学校は一人一人の子供に対して「分かりやすい整った環境整備」や「自己肯定感を育てる指導」を行っている。				22%	57%	5%	0%	16%
◎ 学校は、「4つのない」を意識し、十分な感染予防対策を講じた上で、教育活動を進めている。				35%	63%	1%	0%	7%
◎ 学校は、できることを工夫したり、教育活動の在り方を見直し、改善を行ったりして、新しい生活様式の定着を図っている。				37%	58%	3%	0%	2%
○ 学校は、ICTを適切・安全に使いこなすことができるよう、環境整備に努め、十分な指導や説明を行っている。				26%	57%	4%	2%	13%

◇学校生活についての情報が昨年度に比べ多くなってきたことや新しい生活様式が定着しつつあることなどから「よくわからない」の回答少なくなり、多くの項目で肯定的な評価の割合が高くなりました。今後は、特別支援教育や自己肯定感を育てる指導など肯定的な評価が低い項目を改善すべき課題として受け止め、学校の取組を保護者の皆様に分かりやすく説明をしたり、指導や対応の改善を図ったりします。

○	パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯ゲーム機などを使用 しインターネットやメール、SNSを利用させることがある。	ルールあり	ルールなし	もっていない
		87%	1%	12%

◇家庭でのルールづくりは定着しつつあります。1人1台のPCが整備され、積極的な活用が予想されることから、家庭との連携を図りながら継続して指導します。

4 自由記述で出された意見について

自由記述欄には、コロナ禍の対応や本校の取組に関して心温かる励ましや肯定的なご意見がたくさんありました。この場をお借りして感謝申し上げます。

また、次年度の計画に関わる貴重なご意見もたくさんいただきました。主な内容と対応策について以下にまとめました。

(1) 教育活動や子供たちの様子に関して

- 在籍している学年や学級の様子は見る機会が多くなったが、他の学年の様子や学校全体の様子を見る機会がなかった。
- 普段の授業を見る機会が少なくなった。動画配信等を活用して公開するなど通常の授業の様子が知りたい。
- 保護者が学校に行ける機会が増えると嬉しいです。

◇昨年度に比べ学校公開や大きな行事が実施できたこともあり、肯定的なご意見が多かったようです。しかし、密を避けるための対策を講じながらの実施になったことから公開できる内容が当該学年に限定されたこともありました。今年度から使用できるようになったインターネットの環境を活用し、状況に応じて学校の様子を公開できるよう工夫していきます。

◇来年度も今年度と同じような状況が予想されます。学校にご来校いただき直接参観していただく機会についても、感染症対策を講じた実施方法を工夫していきたいと思えます。

(2) 新しい生活様式について

- コロナ禍で出来なくなった遠足や子供たちが楽しみにしている行事など、今後どのようにしていくのかを知りたい。
- 集団登校が再開されないことを踏まえ、地区班の災害時の活用、保護者の関わり方等を考えてほしい。
- アルコール消毒等、今後も感染予防を徹底してほしい。
- 欠席時の連絡や配布物についてオンライン化を進めてほしい。

◇登校については、地域の皆様の見守りや、保護者の皆様のご協力により大きな事故や混乱もありませんでした。登校については個別での登校を継続します。また、これまで同様に有事に備えて地区班の編成は行います。また、学校行事についてもこれまでの実績を踏まえ、学校行事のねらいや子供たちにとっての楽しさ、達成感等を十分に考慮し、計画を立てていきたいと考えています。

◇感染症の対策や感染拡大防止に伴う出欠席の扱いについても、市の方針を踏まえながら「4つのない」を徹底します。また、ネット環境を活用した効率化、地球環境への配慮も合わせて進めていきます。

(3) その他の課題となるご意見

- 体育の時の服装について、多様性の時代に対応してほしい。
- 個人端末を子供が自由に使えるようにしてほしい。
- オンライン化が進む中、教科書等の持ち帰りについて検討してもらいたい。
- 着衣水泳の実施等、デジタル化の時代になっても必要なことはアナログで対応してほしい。 等

◇学校教育が様々な面で大きな転換期を迎えています。コロナ禍によりその対応にはスピード感を持って進める必要があると考えています。体育時の服装や、個人用端末の活用方法、教科書の扱い等、皆様からいただいたご意見については真摯に受け止め、子供たちにとっての最善を考えていきたいと思えます。